

**海老名市立杉本小学校 学校運営協議会 議事録**  
(令和7年度 第3回)

- 1 日時 令和7年11月10日(月) 13:30~14:45
- 2 場所 海老名市立杉本小学校 校長室
- 3 出席委員 瀧澤美穂子委員長、河村治副委員長、藤吉ひとみ委員、鈴木亜矢委員、及川普二委員、坂本真一委員、奥泉憲校長、前田潤子教頭

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

奥泉校長：ふれあい広場のおもちつきリハーサル、竹内氏の稲作活動支援への感謝。  
感染症の状況について

(2) 委員長挨拶

瀧澤委員長：運動会がよかった。特に6年生直筆の礼状兼しおりがすてきであった。

(3) 登校班、個別登校について

坂本委員：「お試し個別登校に関するアンケート結果」について。登校班廃止に係る懸念事項は児童の安全面が一番多いが、登校班を管理する委員の引き受け不可が約92%ということで、臨時総会(書面・LINE)で登校方式の見直しを諮る。

瀧澤委員長：今年度は誰が立哨当番表を作っているか。また、免除規定はあるか。

坂本委員：本部で立哨当番表を作成している。世帯数が地区により違うため、自分の子どもの通学路外の立哨もお願いしている。

免除に当たるのは、妊娠中、未就学児がいる、本部役員、付き添い登校の保護者で、学期末にGoogleで調査し、立哨当番表を作成している。

鈴木委員：全世帯でGoogle調査への対応はできていますか。

坂本委員：できている。

奥泉校長：お試し登校の初日、2日目は児童の登校時刻が8時より前と早かったが、PTAの保護者への迅速な呼びかけで、保護者の皆様に対応していただき、改善された。その後、再度登校時刻の見直しを行った登校班があったように感じる。3学期にお試し登校期間を長めにとり、課題を見出し、PTAと学校で対応していきたい。

瀧澤委員：悪天候時の自動車での送迎増加、新入生の登校時の不安への対応が求められるように感じる。

鈴木委員：新入生が通学路を覚えられるか不安がある。

坂本委員：新入学説明会でアナウンスする。

河村委員：立哨している保護者は児童がバラバラに登校すると困るのではないか。児童がポイントを通過する時刻が遅れても早くても。また、交通量が増えているので、安全面での不安を感じる。

坂本委員：立哨時間を区切る。その時間立哨していることをアナウンスしていく。  
PTA 未加入の方も立哨当番は行っていただく。

#### （４）地域交流、教育活動アンケート、全国学力学習状況調査結果について

前田教頭：５年生と共に高齢者との世代間交流の計画を進めている。スマホ安全教室の際にシニア世代と昔あそびをしたいと５年生児童が計画している。

河村委員：実際、子どもの友達で、通話制限のないスマホ使用で月の請求金額が４０万であったということも聞いたことがある。

#### （５）フルインクルーシブへの学校の取組について

奥泉校長：週１回の打ち合わせのうち、月に１度、「いんくるどうする？」を開催し、教職員で対話している。この取組を委員のみなさんでやってみましょう。

～「いんくるどうする？」対話～

河村委員：インクルーシブは通常級と特別支援級の児童がともに学ぶイメージだった。それ以外もあると知った。

及川委員：あそびっ子利用の児童の様子を見ていて、資料にあるような支援が必要な児童が結構多いと感じている。

藤吉委員：子どもが２００人いたら、２００通りの対応が必要になってくる。一斉指導でこれをやらねばならぬ、という指導の時代もあったが、子どもをよく見ていくこと、個々の対応方法について保護者と確認しあうことが必要である。

奥泉校長：ずっとクラスでいることに苦しさを感じる児童のために、いろいろな場所や支援員が学校にはいるが、子どもたちには「クラスにいたい」と居場所意識をもってほしい。研修では「対応する人員が足りない」という声があがりがちであるが、まずは職員の対話を通して意識改革をはかることで、フルインクルーシブを推進していきたいと思う。

瀧澤委員：実際、対話して、研修以外のこういう取組もいいなと思った。

#### （６）おわりの言葉

河村委員：学校で過ごす児童の様子、個別登校のアンケート等、児童、保護者の様子がよくわかった。来週はふれあい広場が開催される。よろしくお願ひしたい。

#### （７）連絡

次回の学校運営協議会は、令和８年２月２４日（火）１０：００開催予定。